

平成26年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本研紙株式会社

コード番号 5398 URL <http://www.nihonkenshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇田 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 吉村 勉

TEL 06-6536-3511

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,403	8.5	119		172		159	
25年12月期第3四半期	2,216	11.2	63		90		76	

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 117百万円 (%) 25年12月期第3四半期 288百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	15.58	
25年12月期第3四半期	7.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	5,871	2,102	35.2
25年12月期	6,414	2,251	34.2

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 2,068百万円 25年12月期 2,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期				3.00	3.00
26年12月期					
26年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,180	3.7	180		320		290		28.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	10,246,500 株	25年12月期	10,246,500 株
期末自己株式数	26年12月期3Q	25,066 株	25年12月期	23,597 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	10,222,144 株	25年12月期3Q	10,223,924 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、政府による金融・経済対策効果もあり、景気は緩やかな回復を遂げたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、輸出の伸び悩みに加え欧州経済の混迷も加わり、先行き不透明感を抱えて推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは人件費をはじめとする諸経費の節減・製造原価の低減を進めるとともに、新規顧客の開拓等に努めました。その結果、売上面は国内においては消費税増税前の駆け込み需要、海外においては中国子会社の販売が開始したこともあり前年同期を上回りましたものの、利益面では主として中国子会社における固定費等の経費負担増が重荷となり前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,403百万円(前年同期比8.5%増)、営業損失は119百万円(前年同期は営業損失63百万円)、経常損失は172百万円(前年同期は経常損失90百万円)、四半期純損失は159百万円(前年同期は四半期純損失76百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「国内製造販売」「海外製造販売」に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔国内製造販売〕

国内製造販売セグメントについては、研磨ディスク等の販売増加により売上面・利益面ともに前年同期を上回る水準となりました。この結果、売上高は2,105百万円(前年同期比5.3%増)となり、セグメント利益(営業利益)は125百万円(前年同期比546.3%増)となりました。

〔海外製造販売〕

海外製造販売セグメントについては、中国生産子会社製品の販売開始に伴い売上面については前年を上回りましたものの、利益面につきましては、中国市場における価格競争の激化や固定費・減価償却負担増等もあり前年を下回る水準となりました。

この結果、売上高は297百万円(前年同期比37.8%増)となり、セグメント損失(営業損失)は249百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)88百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,201百万円(前連結会計年度末3,735百万円)となり、前連結会計年度末と比べて533百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が543百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、2,593百万円(同2,589百万円)となり、前連結会計年度末と比べて3百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、76百万円(同88百万円)となり、前連結会計年度末と比べて12百万円の減少となりました。これは中国生産子会社にかかるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,143百万円(前連結会計年度末2,112百万円)となり、前連結会計年度末と比べて31百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が54百万円増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1,625百万円(同2,050百万円)となり、前連結会計年度末と比べて425百万円の減少となりました。これは主に社債が120百万円、長期借入金が247百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,102百万円(前連結会計年度末2,251百万円)となり、前連結会計年度末と比べて148百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期連結業績予想につきましては、本日公表しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、国内においては当初想定通りの推移となる見込であります。海外においては、中国市場の競争激化により販売実績化が当初想定より下回っている状況にあり、開業費の償却や固定費負担等が先行していることから、利益面で当初想定を下回る見込となりました。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月12日公表の業績予想を売上高は3,180百万円、営業損失180百万円、経常損失320百万円、当期純損失290百万円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては、今期の業績が当社見込みを大幅に下回っている状況にあり、誠に遺憾ながら平成26年12月期期末配当につきましては見送り（無配）とさせていただきます。なお、株主優待制度につきましては、所要コスト等を踏まえました結果、株主の皆様的好评を得ておりますことから、現時点においては本年も実施する予定としておりますので、あわせてお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失162百万円、経常損失210百万円、当期純損失157百万円を計上いたしました。当第3四半期連結累計期間におきましては、全社をあげて中国子会社の事業展開に取り組んでおりますが、現段階では、昆山正日研磨料有限公司においては、中国やアセアン諸国等における価格競争激化により収益性が悪化し、常州日研磨料有限公司においては、生産設備の稼働が想定を下回っており固定費を吸収するだけの収益を確保できておりません。この結果、当第3四半期連結累計期間において、営業損失119百万円、経常損失172百万円、四半期純損失159百万円を計上しております。

また、当社グループは、子会社・常州日研磨料有限公司設立のための資金を社債の発行または金融機関からの借入によって調達しております。当該社債または借入金につきましては約定どおりに償還または返済しておりますが、業績が計画と大幅に乖離したことから手許資金残高が減少しております。

当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、このような状況を解消するため、以下の諸施策の実現に向けて取り組んでおります。

① 中国事業の早期の事業見直し

収益構造を改善するためには、現状において当社グループの利益に貢献できていない中国事業の見直しを早急に進めていく必要があると考えており、中国生産品の営業強化、製造原価の低減並びに在庫の圧縮、他社との連携の強化等、具体的な施策を検討してまいります。

② 固定費、諸経費の削減

役員報酬、従業員賞与の削減等、固定費、諸経費を圧縮してまいります。

③ 保有資産の売却

土地・投資有価証券などを中心に、売却可能な保有資産の選別をし、売却を進めてまいります。

④ 資金繰り並びに資本増強策

現状においては、主力銀行を中心に取引金融機関と密接な関係を維持しており、継続的な支援を前提とした資金計画を策定し、資金の安定的な確保に向けて継続的な取り組みを行うとともに、財務基盤の安定を図るため、資本増強についての検討等を進めてまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,205,846	662,441
受取手形及び売掛金	840,995	860,384
有価証券	34,147	—
商品及び製品	224,853	223,940
仕掛品	755,077	759,770
原材料及び貯蔵品	494,328	509,971
繰延税金資産	18,249	14,654
その他	165,391	174,019
貸倒引当金	△3,624	△3,572
流動資産合計	3,735,265	3,201,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	753,755	745,185
機械装置及び運搬具(純額)	940,282	938,310
土地	373,083	373,083
リース資産(純額)	350	4,002
建設仮勘定	4,501	—
その他(純額)	23,105	22,140
有形固定資産合計	2,095,079	2,082,721
無形固定資産	143,412	147,851
投資その他の資産		
投資有価証券	270,620	281,469
繰延税金資産	30,882	27,016
その他	50,243	54,680
貸倒引当金	△380	△376
投資その他の資産合計	351,366	362,789
固定資産合計	2,589,858	2,593,362
繰延資産		
開業費	88,933	76,669
繰延資産合計	88,933	76,669
資産合計	6,414,056	5,871,643

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	474,657	529,319
1年内償還予定の社債	150,000	150,000
短期借入金	1,305,144	1,315,408
リース債務	350	696
未払法人税等	5,918	12,099
賞与引当金	5,002	—
環境対策引当金	3,571	—
その他	167,418	135,990
流動負債合計	2,112,062	2,143,514
固定負債		
社債	495,000	375,000
長期借入金	1,355,777	1,108,699
リース債務	—	3,306
退職給付引当金	117,140	70,445
役員退職慰労引当金	72,300	57,800
その他	10,007	9,955
固定負債合計	2,050,225	1,625,205
負債合計	4,162,287	3,768,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	512,325	512,325
資本剰余金	56,182	56,182
利益剰余金	907,634	717,682
自己株式	△4,908	△5,098
株主資本合計	1,471,233	1,281,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,066	56,800
為替換算調整勘定	666,623	730,581
その他の包括利益累計額合計	721,690	787,382
少数株主持分	58,845	34,449
純資産合計	2,251,769	2,102,923
負債純資産合計	6,414,056	5,871,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,216,045	2,403,795
売上原価	1,666,981	1,887,662
売上総利益	549,063	516,133
販売費及び一般管理費	612,113	635,677
営業損失(△)	△63,050	△119,544
営業外収益		
受取利息	914	506
受取配当金	4,501	3,996
助成金収入	750	750
為替差益	8,836	—
その他	2,906	2,808
営業外収益合計	17,908	8,061
営業外費用		
支払利息	37,057	38,817
固定資産除却損	495	410
支払手数料	1,000	—
為替差損	—	1,761
開業費償却	1,489	14,681
その他	5,409	4,959
営業外費用合計	45,452	60,630
経常損失(△)	△90,593	△172,114
特別利益		
投資有価証券売却益	2,160	—
特別利益合計	2,160	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,433	△172,114
法人税、住民税及び事業税	1,981	14,566
法人税等調整額	△287	△1,413
法人税等合計	1,693	13,153
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△90,127	△185,267
少数株主損失(△)	△13,804	△25,999
四半期純損失(△)	△76,322	△159,268

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△90,127	△185,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,303	1,734
為替換算調整勘定	342,583	65,560
その他の包括利益合計	378,886	67,295
四半期包括利益	288,758	△117,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,498	△93,575
少数株主に係る四半期包括利益	△2,740	△24,396

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略していません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内製造販売	海外製造販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,105,821	297,973	2,403,795	—	2,403,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134,731	—	134,731	△134,731	—
計	2,240,553	297,973	2,538,526	△134,731	2,403,795
セグメント利益又は損失(△)	125,379	△249,477	△124,098	4,553	△119,544

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,553千円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントとしておりましたが、中国事業の重要性が高まったことに伴い、セグメントの区分方法の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを、従来の単一セグメントから「国内製造販売」「海外製造販売」に変更しております。また、前第3四半期連結累計期間については、当該変更後の区分により作り直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内製造販売	海外製造販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,999,734	216,310	2,216,045	—	2,216,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	154,229	—	154,229	△154,229	—
計	2,153,963	216,310	2,370,274	△154,229	2,216,045
セグメント利益又は損失(△)	19,400	△88,781	△69,380	6,330	△63,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,330千円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。